

令和六年度
関東甲信越建築士会ブロック会青年建築士協議会千葉大会
大会テーマ『建築 2.1』
実施要項

【大会概要】

- 主催 関東甲信越建築士会ブロック会 青年建築士協議会
- 共催 一般社団法人 千葉県建築士会
- 対象 関東甲信越建築士会ブロック会に所属する建築士
(全国の建築士会に所属する建築士の参加可)
- 開催日 令和6年6月21日(金)理事会
22日(土)大会当日
23日(日)エクスカージョン・理事会
- 大会 Web サイト <https://chiba-seinen.wixsite.com/chibataikai2024>
- 会場 ザ キューブホテル千葉 内 TKP ガーデンシティ千葉
〒260-0025 千葉県千葉市中央区問屋町 1-45 千葉ポートスクエア内
TEL 043-302-1721
<https://www.kashikaigishitsu.net/facilitys/gc-chiba/>
※会場内は飲食物の持ち込みができません
- 宿泊 理事・会長：会場併設 ザ キューブホテル千葉
〒260-0025 千葉県千葉市中央区問屋町 1-45 千葉ポートスクエア内
TEL 043-246-1888
<https://www.thequbehotelchiba.com/>
他参加者：各自手配
- 交通 JR 京葉線 千葉みなと駅 幸町・千葉港・問屋町方面出口 徒歩 11 分
千葉モノレール 1 号線 市役所前(千葉県)駅 出入口 1 徒歩 7 分
京成千葉線 千葉中央駅 西口 徒歩 9 分



■各案内 QR コード

▼千葉大会 Web サイト



▼会場 ザ・キューブ・ホテル千葉内 TKP ガーデンシティ千葉 Web サイト



▼ザ・キューブ・ホテル千葉 アクセス案内
(電車のアクセス、高速道路出口情報等)

▼Google マップ

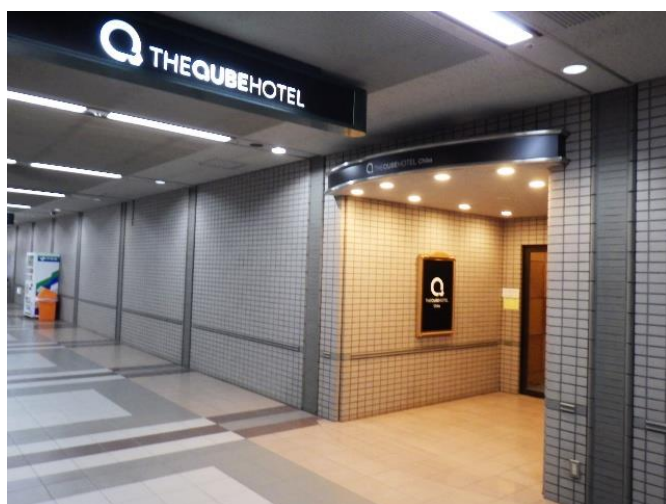


■会場入口案内

▼千葉都市モノレール「市役所前駅」、京葉線「千葉みなと駅」よりお越しの場合



▼京成電鉄「千葉中央駅」よりお越しの場合



※会場内は飲食物の持ち込みができません

■ 駐車場について

【会場駐車場】

駐車場のご案内



🚗 入り口が 3 ヶ所、出口が 2 ヶ所ございます。

🚗 駐車場台数約 1100 台 高さ制限 2.1M

- ポートタウン
- ホテル
- ポートアリーナ
- ポートサイドタワー

ご利用料金

30 分毎	¥ 200
～ 15 時間まで	¥ 900

ポートタウン施設利用割引サービス

ポートタウン内店舗 ご利用のお客様	1 時間無料
1,000 円以上 ご利用のお客様	2 時間無料
2,000 円以上 ご利用のお客様	3 時間無料

※テナントにてご優待を受けてください。
※時間割引の為、最大料金適用時には割引処理済駐車券を使用してもお支払い金額が変わらない場合があります。
※割引サービスは各テナントにて異なりますので割引内容はテナントへご確認をお願い致します。

【ご注意】

会場は複合施設になっており、当日の混雑如何によっては駐車できない場合があります。事前に、以下の近隣駐車場情報をご確認のほどよろしくお願いたします。

ナビタイム：TKP 千葉ガーデンシティ周辺の日中最大料金あり駐車場

<https://www.navitime.co.jp/parking/around/?spt=06197.171&category=&option=&open=false&maxPrice=&page=1&from=parking.search.spot>



近隣駐車場案内ページ

【大会テーマ】



「建築 2.1」

建築は時代に合わせ、新しい技術や生活様式を取り入れることによってその姿を変えてきました。火の発見によって住宅には照明や調理場がもたらされ、電気の発見によってその照明は電灯となり、また室内は機械や電波で満たされています。建築の設計は手書きからCADへ移り変わり、施工現場では玄翁をインパクトドライバーへ持ち替え、技能と技術は徐々にアップデートされてきました。

2019年に発生した新型コロナウイルスの蔓延により、人々の生活様式は大きく変わる事になりました。一部で限定的に使われていたオンライン会議ツールの普及などによって、それまで対面でのみ行われていた仕事も、離れた場所同士で繋がり行うことが当たり前に感じられるようになりました。

建築士会での活動も、大きく変わる必要に迫られました。

感染を避けるために、オンラインの活用など、様々な方法を試したことかと思えます。コロナ禍も4年の月日が流れ、その間の試行錯誤によって今までにない活動方法などが生まれたのではないのでしょうか。

今回は、そういった新しい取り組みを皆で共有し、その情報を持ち帰ることで、各々の活動をアップデートするための一助となる大会にしたいと思えます。

【大会参加費】

大会登録費（21～22日）	5,000円/人
大懇親会参加費（22日）	8,000円/人
関ブロ交流会参加費（22日）	4,000円/人
都県別交流会（長野・新潟）（22日）	4,000円/人（現地にて）
エクスカッション参加費（23日）	3,500～7,500円/人 （コースによる）

※宿泊場所は参加者個人での確保となります。前泊、当日宿泊の予約は参加者個人でのご手配をお願いいたします。

【大会内容】

《前日（21日）》

■理事会 TKP ガーデンシティ千葉 4階カノン

《当日（22日）》

■開会式 TKP ガーデンシティ千葉 4階コンチェルト

■第一分科会 TKP ガーデンシティ千葉 4階コンチェルト

各都県代表による地域実践活動の発表

- ・発表者はステージに登壇し、パワーポイントを使用した発表を行う。
- ・発表時間は7分間とする。
- ・最優秀賞、優秀賞、会場賞などの審査、表彰を行う。
- ・大会テーマ「建築2.1」に関連した発表が望ましい。コロナ禍において試行錯誤したことや、これまでになかった新しい取り組み、それまでの活動からの変化など（詳細は第一分科会実施要項に記載）。

■第一分科会Ⅱ TKP ガーデンシティ千葉 3階メヌエット

第一分科会での発表内容をより掘り下げることを目的としたグループディスカッション。

- ・各都県より参加者をあらかじめ選出してもらう。
- ・前半、後半で席替えを行う予定。
- ・各都県参加者に、第一分科会Ⅱの場での交流を行ってもらうことを念頭に企画。

■第二分科会 TKP ガーデンシティ千葉 3階シンフォニア D

関ブロ千葉大会実行委員会企画

登壇者：柳澤 要 千葉大学教授

講演テーマ：「学校統廃合などによる空き校舎の活用について」

参考事例：道の駅保田小ほか県内事例、全国事例、海外事例など

参考 URL：<https://hotasho.jp>

■第三分科会 TKP ガーデンシティ千葉 3階シンフォニア E

関ブロ理事会企画詳細

登壇者：株式会社 Polyus 代表取締役 大岡 航

講演テーマ：「非常識が「常識」になっていく時代

－国内唯一の建設用3Dプリンタ企業の挑戦－

参考 URL：<https://polyuse.xyz>

■全体会議・結果発表 TKP ガーデンシティ千葉 4階コンチェルト

■大懇親会 TKP ガーデンシティ千葉 3階シンフォニア

■都県別交流会 / 関ブロ交流会 各都県会場及び関ブロ全体会場にて開催

《翌日（23日）》

■理事会 TKP ガーデンシティ千葉 4階ロンド

■エクスカージョン

3コースを予定

① 成田山新勝寺・表参道（半日）

1000年以上の歴史ある寺、江戸時代から続く門前町、今でも当時の名残りをとどめています。

② 建築2.1ツアー（1日コース）

第二分科会でご紹介した、廃校を利用した建物を実際に見に行きませんか。

③ 日本製鉄 東日本製鉄所（君津地区）工場見学（半日）

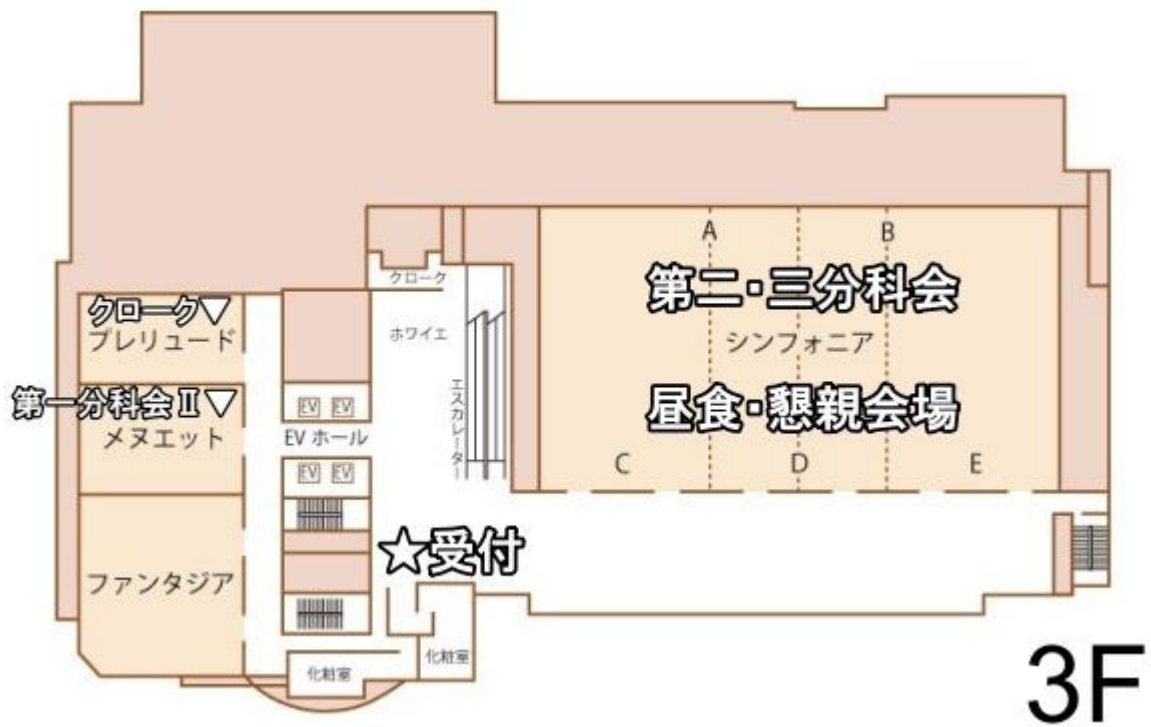
建築では欠かせない鉄！！そんな鉄の製造工程を見に行きませんか。

■大会スケジュール

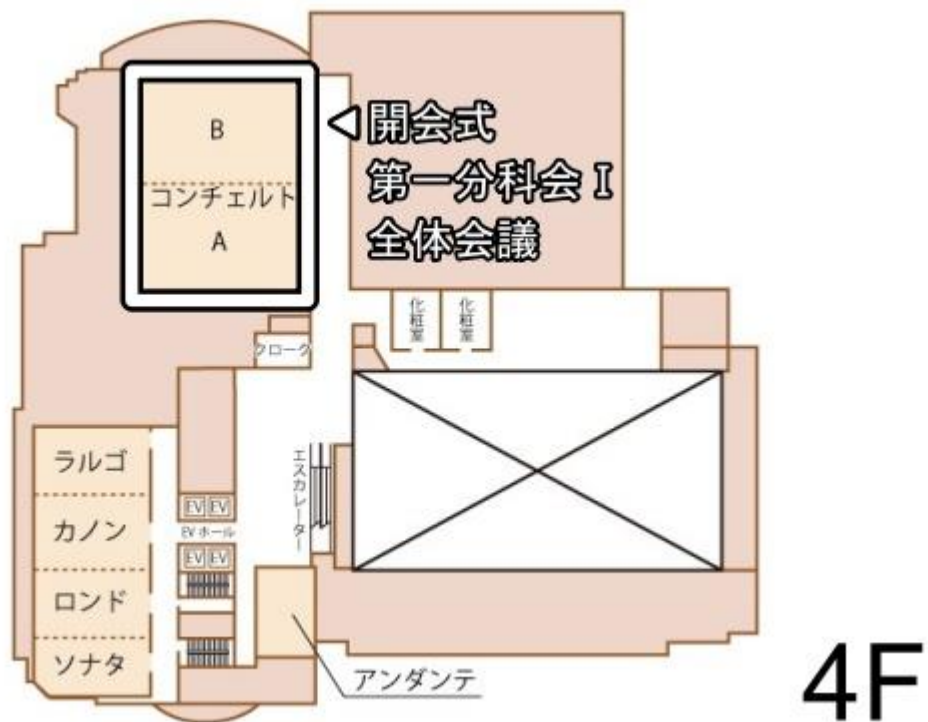
日程	時間	所要時間	内容	会場
6月21日 (金)	13:00	4:00	関プロ青年協 理事会	4F カノン
	17:00			
	18:00	2:00	関プロ青年協 懇親会	21F スカイバンケット
	20:00			
6月22日 (土)	10:30	1:00	受付	3F ホワイエ
	11:30		(昼食：弁当)	(3F シンフォニア)
	11:30	0:40	開会式	4F コンチェルト
	12:10			
	12:10	0:15	休憩	
	12:25			
	12:25	2:00	第一分科会 I	4F コンチェルト
	14:25			
	14:25	0:20	休憩	
	14:45			
	14:45	1:30	第一分科会 II	3F メヌエット
			第二分科会	3F シンフォニア1/3
	16:15		第三分科会	3F シンフォニア1/3
	16:15	0:20	休憩	
	16:35			
	16:35	0:55	全体会議	4F コンチェルト
	17:30			
	17:30	1:00	移動時間等	
	18:30			
	18:30	2:30	大懇親会	3F シンフォニア
21:00				
21:00	0:15	移動時間等		
21:15				
21:15	1:30	都県別交流会	各会場	
22:45		関プロ交流会		
6月23日 (日)	8:00	1:00	関プロ青年協 理事会	4F ロンド
	9:00			
	8:30	エクスカーション① 成田山	TKP 1階入り口	
	8:00	エクスカーション② 建築2.1	TKP 1階入り口	
	8:00	エクスカーション③ 日本製鉄	TKP 1階入り口	
10:30 ~ 18:00			クローク	3F プレリユード

■会場見取図

TKP ガーデンシティ千葉 3階



TKP ガーデンシティ千葉 4階



※会場内は飲食物の持ち込みができません

令和6年度 関東甲信越建築士会ブロック会青年建築士協議会 千葉大会
第一分科会 『アップデート』 実施要項

1 趣旨

新型コロナウイルス感染症の脅威が広まったことにより、大きく社会的変化がおきました。そして、新型コロナウイルスの規制が緩和され、新しい生活が出来上がりつつあります。この数年で我々を含め多くの方は ZOOM をはじめとするオンラインツールの普及や在宅ワーク等多くの変化を体験したと思います。

その規制が緩和された今でもそんな体験が建築士会の活動にも取り込まれ活動に活かされていることと思います。

今回の大会ではそんな新しい『アップデート』体験に焦点をあてて、各都県での活動を発表していただき、自都県での活動の参考として地域社会へ還元していただくことを目的とします。

2 募集内容

●地域実践活動

第一分科会のテーマ『アップデート』に従い、各都県の地域性あふれる活動について発表する。継続して行ってきた活動での新たな取り組みや新たに始めた活動等により、仲間同士、また建築士と地域がコミュニケーションや信頼関係を築き、さらに今後の地域での展開と建築士活動の展開をどのように見据えているかを明確にすること。

●各都県活動発表

これまで断続的に活動してきた地域実践活動や、今動き始めた活動などについて、活動の内容及び将来への活動指針を提示し、具体的に発表する。

- ・あくまでも具体的な活動の発表に重きを置くものとして、実績のない提案発表は不可とする。
- ・応募数は原則として、各都県建築士会で1件とする。
- ・発表に使用するデータは PowerPoint のデータ形式のみとする。

3 審査

表彰内容

●最優秀賞 1名 ●優秀賞 2名 ●会場賞 1名 ●参加賞 7名

審査項目

審査員及び会場参加者による審査を行うものとし、最優秀賞及び優秀賞の選出に当たり以下の事項に関して審査を行う。

- 1) 第一分科会のテーマとの整合性
- 2) 自都県の建築士会に持ち帰り広めたい活動か
- 3) 地域・社会への貢献度

4 審査及び投票方法

- ・審査方法は、審査員による加点投票と、会場参加の建築士会会員による投票を併用し実施する。
- ・会場参加者の投票は建築士会会員のみとする。

5 審査員

- ・各都県建築士会の関プロ青年協理事又は各都県建築士会が審査員として指名する者各1名 計10名
- ・最優秀発表者決定に至る責任者として審査委員長を1名選出する。
- ・審査委員長は関プロ青年協理事から選出する。
- ・第一分科会にて審査を行ったものは第一分科会Ⅱに参加する。

※審査方法についての事前説明会を、下記日程で開催します。

- ・6月22日（土）10：30～

6 採点方式及び投票方法

◇審査員による加点投票と加点方法

- ・審査委員長は採点を行わないものとする。
- ・審査員10名は自都県を除いた9つの発表に対して採点を行う
- ・審査員は3項目についてそれぞれ採点を行う。

◇会場票による加点方法

- ・各項目で3都県を必ず選択し投票する。
- ・選択したものに対して1点ずつの加点とする。
- ・集計は Google フォームを使用する。

7 発表時間の開始と終了方法、発表時間

- ・発表者の発表準備が整ったら司会者に合図を送り、司会者の合図で開始する。
- ・発表の終了はタイムキーパーによる鐘2回の鳴動で終了する。
- ・終了前1分前にタイムキーパーにより鐘1回の鳴動で1分前であることを発表者に知らせる。
- ・発表時間は一都県あたり7分とする。
- ・1分超過した場合は司会者のアナウンスののち強制終了となる。

8 発表者に対する質疑

- ・質疑は第一分科会Ⅱにて行うものとする。

9 各賞の決定方法

●最優秀賞・優秀賞

・『審査員点』と『会場点』を合算し合計点数の多い都県から順に最優秀賞1都県、優秀賞2都県を決定する。

・最多得点が複数ある時は、審査委員長の1票により最優秀賞を決定する。

●会場賞

・会場賞は会場票の点数の多い都県に決定する（他賞との重複を妨げない）。

●参加賞

・参加賞は最優秀賞、優秀賞の受賞都県以外とする。

10 各賞の発表方法

・最優秀賞、優秀賞、会場賞の発表並び表彰を『全体会議・結果発表』で行う。

※発表者は6月22日10:30第一分科会の会場にて発表の流れの確認及びデータ確認を行いますので集合願います。

令和6年度 関東甲信越建築士会ブロック会青年建築士協議会 千葉大会
第一分科会Ⅱ 実施要項

1 趣旨

第一分科会Ⅱは第一分科会Ⅰで発表した各都県の発表を踏まえて、参加者は質疑を行い、それによって得た知識を各都県へ持ち帰り、今後の活動の参考にし、地域へのさらなる貢献や自己研鑽に努めることを目的とする。

各都県での活動は発表として実を結びそれらの知識を質疑で自都県に持ち帰る行為を、畑から土の中に埋もれた落花生を掘り出す行為になぞらえ、質疑を行った者は実際に落花生を取得することができる。

2 概要

●意見交換の方法

- ・意見交換方法はグループディスカッションとする。
- ・参加者は質疑を行うたび各テーブルに配置された進行補助者より落花生を渡され、それを知識とともに持ち帰ることができる。
- ・質疑を行う者は、手を挙げてファシリテーターから指名があったのちに発言をすることができる。
- ・質疑は、参加者で有れば資格は問わずに誰でも行うことができる。
- ・ディスカッションを行うテーブルは5つ配置され、それぞれに2都県の発表者が配置される。前半、後半で席替えを行い、なるべく多くの知識を共有できるようにする。

●参加者

1, ファシリテーター (10名)

各都県建築士会の関ブロ青年協理事又は各都県建築士会が指名する者1名、計10名とする。

各都県より選出されたファシリテーターを各テーブルに2名配置する。

2, 第一分科会Ⅰ発表者 (10名)

第一分科会Ⅰにて発表を行った者。

3, 審査員と審査委員長 (11名)

第一分科会にて審査を行った者。

4, 参加申し込みを行った者。

第一分科会Ⅱに参加を申し込んだ者。

各都県が自都県以外の知識を持ち帰ることができるよう、最低2名を各都県より選出する。

5, 進行補助者 (5名)

各テーブルに千葉県建築士会より、進行補助のための人員を各テーブルに1名配置する。

●ファシリテーターの役割について

ファシリテーターは、各テーブルにて行われるグループディスカッションを活発に進められるように各参加者から質疑を促す。

※ファシリテーターは進行の打合せがあるので、14：35までに3階メヌエットまでお越しください。

●会場の記録

今後の活動の参考にするために会場の録画・録音を行う。

ただし、各テーブルの討論に妨げがない程度とする。

3 進行表

14：45～16：15（90分）

時間	所要時間	摘要
14：45～16：15	1分	開会の言葉
	5分	進行説明
	36分	前半 A・B
	5分	休憩（テーブル替え）
	36分	後半 A・B
	5分	講評
	2分	閉会の言葉

※進行内容は変更になる場合があります。

■各都県により選出する者

- ・発表者：1名
- ・ファシリテーター：1名
- ・審査員：1名
- ・参加者：2名

■青年協より選出する者

- ・審査委員長：1名

令和6年度 関東甲信越建築士会ブロック青年建築士協議会 千葉大会

第二分科会「学校統廃合などによる空き校舎の活用について」実施要項

1. 趣旨・講演内容

全国的に少子化が進み、文部科学省および総務省によると、公立小学校は平成元年の設置学校数約24,600校から平成の大合併（市町村数3,229(H11)→1,727(H22))を経て、平成30年には約19,600校へ約3,000校も減少しました。令和に入ると減少のペースは平成時代よりも勢いを増し、毎年230校程度が廃校となっています。公立中学校においても高等学校においても同様に減少しており、都道府県および各市町村においても空き校舎となった既存施設の活用は喫緊の課題となっています。

第二分科会では、今大会テーマの『建築2.1』になぞらえて、統廃合などにより小中学校(Ver.1)から新たな施設へ転換(Ver.2)し、地域の人々(子供から大人)に利用される事で持続している施設(Ver.2.1～)について千葉県内、全国、海外事例も踏まえて、教育施設計画の権威でもあります千葉大学の柳澤要教授にご講演いただきます。

2. 講演者プロフィール

千葉大学大学院融合理工学府創成工学専攻建築学コース 教授 柳澤 要

経歴 1987 横浜国立大学工学部建築学科

1989 東京大学大学院工学系研究科工学修士

1992 同 工学博士

(株)竹中工務店東京本店設計部, テキサス A&M 大学客員研究員

1998 現職



施設デザイン計画や建築設計について学生に向けて講義・指導を行う傍ら、幕張インターナショナルスクールなど教育施設の計画に携わり、多数の受賞作品やメディア掲載作品があります。また、日本建築学会、人間-環境学会、教育施設プランナー国際会議、NPHC(こどもの病院環境&プレイセラピーネットワーク)代表、ちば子ども学会代表、UIA教育委員、ARCASIA教育委員、文部科学省調査研究会議委員、他多数の団体にて精力的に活動されており、教育施設にとどまらず、公共施設の計画アドバイザーも務めていらっしゃいます。プロフィール詳細は下記URLをご確認ください。

[Dept. of Architecture, Chiba Univ. - _yanagisawa-kaname \(chiba-u.jp\)](http://Dept.of Architecture, Chiba Univ. - _yanagisawa-kaname (chiba-u.jp))

3. タイムスケジュール

日時：令和6年6月22日(土) 14:45～16:15

会場：TKPガーデンシティ千葉 3階シンフォニア

時間	内容	備考
14:45～14:47	司会挨拶・説明	
14:47～14:50	講師紹介	
14:50～15:50	講演	
15:50～16:10	質疑応答	
16:10～16:15	閉会、今後のスケジュール案内	

4. 会場の記録

今後の活動の参考および参加者の知見を広げるため、会場の録画・録音を行います。記録映像等は関ブロ千葉大会実行委員会に帰属し、参加者のみに公開します。参加者個人での録画・録音・撮影はご遠慮ください。

5. エクスカーションとの連動

講演内でご紹介いただく予定の「道の駅保田小」および「木更津スポーツヴィレッジ」については、6月23日（日）開催のエクスカーションのコース2にて実際に施設にご案内いたします。エクスカーションについても奮ってご参加ください。

(ア)道の駅保田小&附属ようちえん



「道の駅保田小」では、施設管理者の校長先生（施設管理担当責任者が校長として活動されています）に施設についてのレクチャーをしていただく予定です。30分程度のレクチャーの後は自由に施設見学をしていただけます。

写真1)体育館を改修したマルシェ「きよなん楽市」



また、昨年10月には同じく廃校となった旧鋸南(きよなん)幼稚園を活用した「道の駅保田小附属ようちえん」が開園いたしました。子育て世代向け施設ですが、「道の駅保田小」に足りなかった機能が補填されています。

写真2)みまもり広場「わっか」

(イ)木更津スポーツヴィレッジ



「木更津スポーツヴィレッジ」は元Jリーガーのカレンロバート氏が経営しJリーグへの参入を目指す房総ローヴァーズ木更津FCの練習・合宿施設であり、他にも一般の子供～大人の合宿、講習会、イベント等で利用可能な施設となっています。

写真3)木更津スポーツヴィレッジ外観

令和6年度 関東甲信越建築士会ブロック青年建築士協議会 千葉大会

第三分科会 講師講演 非常識が「常識」になっていく時代 ー国内唯一の建設用3Dプリンタ企業の挑戦ー

実施要項

1. 趣旨

日本の建設業界は世界でも類を見ない程、深い文化や職人の素晴らしい知見と高度な技術が継承されており、これまでの日本を長い年月支えてきました。いつもの生活圏に当たり前にある建物や道路、橋、公園などは多くの建設従事者の支えによって安全に使用することができています。それも全て担い手がいたからこそであります。しかし、その建設業界では年々高齢化が進み、担い手が不足し、当たり前の生活にまで影響が出てしまう可能性が出てきています。これからの時代、不確実性はますます高くなり、予期せぬ災害や緊急事態が起こる可能性もあります。社会の当たり前を作る建設業界においてテクノロジーによる変革（アップデート）は喫緊の課題となっています。

第三分科会では、今大会のテーマの「建築 2.1」を元に、建設3Dプリンタで先導するPolyuse（ポリユース）大岡航氏に 建設3Dプリンタや建築業界のデジタルトランスフォーメーション（DX）など、テクノロジーが協働する次世代の建築業界の価値とあり方についてご講演いただきます。

2. 開催形式及びタイムスケジュール

日時：令和6年6月22日（土）14:45～16:15

会場：TKPガーデンシティ千葉 3階シンフォニア

■タイムスケジュール

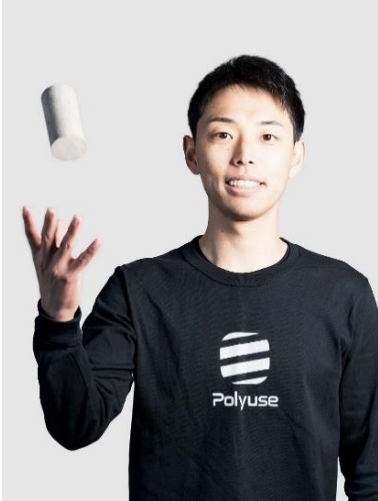
時間	内容	備考
14:45	司会挨拶・趣旨説明・講師紹介	
14:50 (50分)	講演 Polyuse 大岡 航氏	
15:40 (10分)	休憩	
15:50 (20分)	対談 Polyuse 大岡 航氏 未定（関ブロ青年協） 来場者からの質疑 ファシリテーター 未定	
16:10 (5分)	閉会・今後のスケジュール案内	

形式：講演から対談での進行。

3. 対談テーマ『建築 2.1』（案）

建設 3Dプリンタや建設 DX というテーマ性を元に、50 分程度の講演、20 分程度の対談、質疑応答を含めた形式にて進行を検討しております。

4. 講師 大岡 航 / 株式会社 Polyuse



1994 年生まれ、高知県出身。同志社大学卒業。在学中にインフラ/DB 設計・システム開発・監視運用まで一気通貫で行う IT 開発事業を中心とする IT 会社を創業。現在まで、複数社の起業・経営、事業会社での事業立ち上げ等に関わったのち、2019 年に株式会社 Polyuse を共同創業し、代表取締役に就任。

建設業界におけるコンクリート構造物を対象とした日本唯一の建設用 3D プリンタメーカーとして研究開発及び業界の施工 DX に従事。現在、国内最多のシェアを誇る建設用 3D プリンタメーカーとして、「人とテクノロジーの共存施工」による持続可能なインフラ体制構築を目指す。

国土交通省の令和 4 年度インフラ DX 大賞をはじめとし、2023 年経済産業省の J-Startup 企業、東洋経済の「すごいベンチャー 100」、日経アーキテクチャの「建築をアップデートするベンチャー 100」、日経クロストレンドの未来の市場をつくる 100 社【2023 年版】等の受賞及び選定。



■会社概要

会社名：株式会社 Polyuse

所在地：東京都港区浜松町 2-2-15 浜松町ダイヤビル 2F

設立：2019 年 6 月

資本金：100,000,000 円

代表者：岩本 卓也・大岡 航（代表取締役/共同創業者）

事業内容：建設用 3D プリンタを中心とした建設業界特化型の技術開発及びサービス提供

Twitter：@polyuse

2023. 4. 6 経済産業省 J-Startup2023 に選定

2023. 3. 1 令和 4 年度 国土交通省 インフラ DX 大賞 優秀賞 受賞

2022. 11. 21 M I T テクノロジーレビュー主催「Innovators Under35 Japan」に選出

2022. 9. 8 建設用 3D プリンタを用いた公共土木工事でのオンサイトプリンティングを国内初成功

2022. 4. 1 国土交通省での建設用 3D プリンタによる建設 DX 勉強会にて登壇

2022. 2. 15 3D プリンタ施工による、日本国内における初の建築確認申請取得の建築物を造形施工